SONY®

デジタル ビデオカセット レコーダー [}

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

★ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備

4ページ~

基本 7ページ~

応用 15ページ~

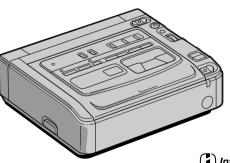
編集

29ページ~

設定を 変える 45ページ~

その他 52ページ~

検索する 68ページ~



InfoLITHIUM



Digital 8 *GV-D200*





必ずお読みください

お使いになる前に

本機はDigital8(デジタルエイト)分式のデジタルビデオカセットレコーダーです。

► II B/ト・マークのついたHi8 (ハイエイト)/Digital8 (デジタルエイト)テープを使用します。録画方式はDigital8 (デジタルエイト)ト 方式になります。また、本機は、他機で撮影したHi8 (ハイエイト)ト II B/方式、またはスタンダード8ミリ日方式の画像を再生することができます。よりよいつなぎ撮りのために、これらの方式とDigital8 (デジタルエイト)ト 方式で記録した映像を同一テープに混在させないことをおすすめします。

また、本取扱説明書に記載された再生機能には、Digital8(デジタルエイト 🕻)方式で撮影された映像にのみ有効なものがありますので、ご了承ください。

ためし緑画

必ず事前にためし録画をし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により記録や 再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償について は、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほか は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本書内の写真について

映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設定を変える

メニューでお買い上げ時の

 検索す

準備1 テレビにつなぐ

付属のAV接続ケーブルで本機とテレビをつなぐと、録画したテープをテレビ画面で見るこ とができます。 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。 テレビの入力を切り換える ジャックカバーを開ける S映像ケーブル(別売り) S1映像出力端子へ _@ S(S1 √ 映像 テレビ 映像 音声 映像/音声出力端子へ AV接続ケーブル (付属)

別売りのS映像ケーブルを使 うと

再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像出力端子とテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にして ください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつ なぐとき

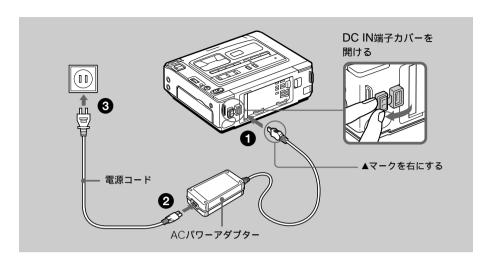
AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(本機側も赤いプラグは接続不要です。)

音声はモノラルです。

映像/音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプター(NTSC方式)でつなぐ。 テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声は モノラルです。

準備2 電源を準備する



ご注意

- ACパワーアダプターは、 お手近なコンセントを使用 してください。本機をご使 用中に不具合が生じたとき は、すぐにコンセントから ブラグを抜き、電源を遮断 してください。
- 電源コードを引っぱらない ようにしてください。プラ グがコンセントから抜ける ことがあります。
- 本機をACパワーアダプ ターに近づけすぎないでく ださい。画面にノイズが出 ることがあります。
- バッテリーをつけたままで もお使いいただけます。
- ・電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

屋外では バッテリーを使います(52 ページ)。

自動車の電源では 別売りのカーバッテリーアダ ブターでお使いになれます。 詳しくはカーバッテリーアダ ブターの取扱説明書をご覧く ださい。 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子に つなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを右にしてつなぐ。

- ② 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。
- **3** 電源コードをコンセントにつなぐ。

準備3 カセットを入れる

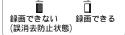
Hii 図/ ト)マークのついたHi8 (ハイエイト) / Digital8 (デジタルエイト)テープを おすすめします。

ご注意

- カセットぶたが開いている ときに、カセット入れに指 を入れたり中を触ったりし ないでください。故障の原 因になります。
- 本機での録画方式はデジタ ルエイト方式です。
- 本機での録画時間はSP モードでHi8テープに表示 してある時間の半分、LP モードで3/4になります。
- スタンダード8ミリテープを使用して本機で録画した場合、本機以外(他のGV-D200を含む)での再生時にモザイク状のノイズが現れることがあります。

間違って消さないために カセットの背にある誤消去防 止ツマミを横にずらし「赤」 にします。



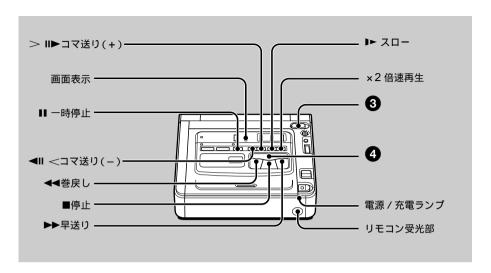


- 電源を準備する(5ページ)。
- 2 カセット取出し→ つまみの青のボタンを押しながら、矢印の方向へずらす。
 カセット入れが自動的に開く。
- 3 テープ窓を上側にして入れる。
- 4 押マークを押して、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順❸で取り出す。

再生する



ご注意

外国製のビデオソフトの中に は、カラーテレビ方式が異な るため本機では再生できない ものがあります。

画面表示について

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面で画面表示を見ることができます。
- 画面表示を出すには画面表示ボタンを押します。
 消すときは、もう一度押します。

- 本機をテレビにつなぐ(4ページ)。
- ② 電源を準備して、再生したいカセットを入れる(5~6ページ)
- **3** 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

本体前面の電源 / 充電ランプが 点灯する。



4 ▷再生ボタンを押す。再生が始まる。



再生を止める

■停止ボタンを押す。

再生する(つづき)

ご注意

変速再生中は

- Digital8 (*) 方式以外で記録 したテープで変速再生する とノイズが出ます。
- 音声は出ません。
- Digital8()方式再生時に前の映像がモザイク状に残ることがあります。
- 再生方式の自動判別を行い ません。

一時停止(静止画)について

- 3分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度□ 再生ボタンを押します。
- 前の画像が残ることがあります。

Digital8[*)方式のスロー再生 について

本機にはスロー画像をなめらかに再生する機能があります。ただし。DV入力/出力端子から出力される信号にはこの機能は働きません。

逆方向再生について 画面の上下や中央に横縞が入 ることがありますが、故障で はありません。

ヘッドホンで音を聞くには ヘッドホン(別売り)を ○(ヘッドホン)端子につな ぎます。音量+/- ボタンで 音量調節ができます。

いろいろな再生

雷源スイッチを「入」にしたときに操作します。

静止画を見る

[再生中]に**■**一時停止ボタンを押す。一時停止ランプ(オレンジ)が点 灯する。

○再生ボタンまたはⅢ一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送りボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

「停止中]に◀◀巻戻しボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

「再生中] に**◀**Ⅱ </ボタンを押す。

▽再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする(ピクチャーサーチ) 「再生中1に▶▶早送り/◀■巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]に▶▶早送りボタン、または[巻き戻し中]に◀◀巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

「再生中]に▶スローボタンを押す。

逆方向にスロー再生するときは、**◄Ⅱ** <ボタンを押してから▶スローボタンを押す。

▽再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]に×2ボタンを押す。

逆方向に倍速再生するときは、**◀Ⅱ** <ボタンを押してから×2ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る

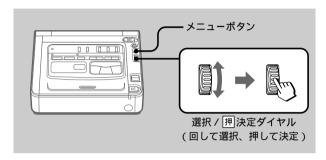
[再生一時停止中] に > **Ⅲ** コマ送り(+) ボタンを押す。

逆方向にコマ送りするときは、◀Ⅱ <コマ送り(-)ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

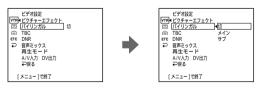
ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープ を再生する

二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの「バイリンガル」を設定して、音声を選んでください。





- ② 選択 / 囲決定ダイヤルを回してVTBを選び、押して決定する。
- **③** 選択 / 厘決定ダイヤルを回して「バイリンガル」を選び、押して決定する。



再生する(つづき)

④ 選択 / 囲決定ダイヤルを回し、音声を選んで、押して決定する。

音声について詳しくは55ページをご覧ください。

メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

ご注意

- 電源スイッチやカセットの 取り出しなどはリモコンで 操作できません。
- ダブルデッキやVHSビデ オカセットレコーダーのリ モコンでは操作できないこ とがあります。

リモコンで操作する

他のソニー製品に付属のリモコンで本機を操作できます。 メニューの「リモコン」で、お使いになるリモコンのリモコン コードを合わせてください(49ページ)。

リモコンコード	ソニー製品
VTR1	ベータマックスビデオカセットレコーダー
VTR2	8mmビデオカメラレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー 8mmビデオカセットレコーダー
VTR3	VHSビデオカセットレコーダー
VTR4	デジタルビデオカセットレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー
VTR5、VTR6	デジタルビデオカセットレコーダー

テレビの接続について 下記の接続のとき、ワイドTV モードで記録した画像を再生 すると、画像は自動的にフル モードに切り換わります。

- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力 端子に接続したとき。

ID-1方式とは

ビデオ信号のすきまに信号を 加算することにより、画面の 縦横比(16:9、4:3またはレ ターボックス)の情報を通信 するシステムです。

ID-2方式とは

ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

S1映像信号とは

通常のS映像信号にワイド モード自動選択用の信号が加 算されています。

録画について

ワイドTV信号を本機で録画する場合は、本機で自動判別して、ワイドTV録画します。

ワイドTV再生・記録

ソニーのデジタルビデオカメラでワイド撮影したテープは本機でワイド再生することができます。ID-1/ID-2対応テレビに接続した場合は自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイド TV再生



ビで再生



テレビをフルモー ドに切り換える



画像が縦長に なります。

再生する(つづき)

SUPER LASER AVLINK 別売りのAVコードレスIRレシーパーIFT-R20との組み合 わせで最大距離が従来比*約 60%アップ、またノイズレ ベル約40%減を実現してい ます。

* LASER AVLINK搭載ビデ オカメラとIFT-R10との組 み合わせ時

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について 本機のSUPER LASER AVLINKボタンを押すと、 自動的にテレビの電源が入 ります。
 - あらかじめ下記の操作をしておいてください。
 - ーテレビの主電源を入れ る。
 - ー本機のメニューで「オートTVオン」を「入」にする。
 - ー本機の赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に 向けておく。
- ・ 入力について 本機のメニューで「オート TVオン」を「入」に設定 し、「TV入力切りかえ」を IRレシーバーをつないだテ レビの入力端子(ビデオ1/ 2/3)と同じに設定する と、テレビの入力も(使力した)ではよっては、切り換わりま切りま切りによっては、切り換わるときに一瞬画像やます。

機種によっては、操作できないことがあります。本機の電源スイッチを「切」

自動的に解除されます。

にすると

SUPER LASER AVLINK を使うと

バッテリーの使用時間が短く なりますので、使わないとき はSUPER LASER AVLINK を解除しておいてください。

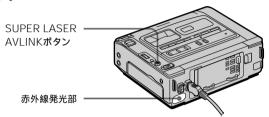
Man はソニー(株)の商標です。

ケーブルを使わずに見る

- SUPER LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

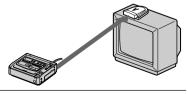
詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。



ACパワーアダプターなどの電源を付け、再生したいカセットを入れておいてください。

- テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。
- ② テレビの電源を入れ、テレビ / ビデオ切り換 えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 本機の電源スイッチを「入」にする。
- **4** SUPER LASER AVLINKボタンを押す。 ボタンのランプ(赤)が点灯する。
- 本機の
 一再生ボタンを押す。
 再生が始まる。
- 6 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。

再生中の画像がき れいにテレビに写 るようにする。

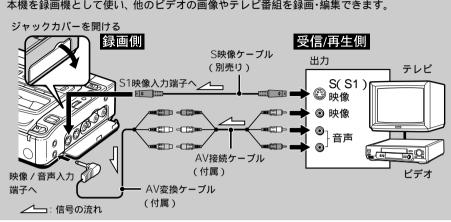


SUPER LASER AVLINKを解除する SUPER LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを 消す。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。



ご注意

- よりよいつなぎ撮りのため に、Hi8/スタンダード8ミ リ方式で記録した画像と、 Digital8トラ方式で記録した 画像をひとつのテープに混 在させないことをおすすめ します。
- 再生側のビデオで早送りや スロー再生などを行うと、 本機で録画中の画像が乱れ ることがあります。テープ を通常速度で再生してくだ さい。

ビデオやテレビの音声出力端 子がひとつ(モノラル)の場合 AV接続ケーブルの黄色いプ ラグを映像出力へ、白いプラ グを音声出力へつなぎます。 (赤いプラグはどちらにもつ ながないでください。)音声 はモノラルです。

別売りのS映像ケーブルを使 うと

録画画像がより忠実に再現で きます。ビデオやテレビにS (S1)映像端子がついている ときは、AV接続ケーブルの 黄色いプラグ(映像)のかわ りに別売りのS映像ケーブル で本機のS1映像入力端子と ビデオ、またはテレビの S(S1)映像端子を接続するこ とをおすすめします。

⚠ カセットを準備する。

本 機:電源を準備して、録画したいカセットを入れる。

再生機:ビデオから録画するときは、録画済みのカセッ

トを入れる。

- 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 本機を録画一時停止にする。
 - ●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにⅡー時停止ボタン を押す。



- 4 再生側のビデオを再生する。または、録画し たいテレビ番組を受信する。
- 録画したい場面で本機の肌──時停止ボタンを 押して録画を始める。

録画が終わったら

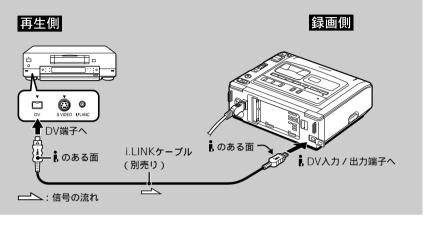
本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する(つづき)

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(別売り)でつなぎ、本機で録画・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。



ご注意

本機と異なるi.LINK仕様の機 種では信号のやりとりができ ません。

i.LINKケーブルで本機と接続できるのは1台だけです。

デジタルダビング編集中は モニター映像に色ムラが出る ことがありますが、ダビング された画像には影響はありま せん。

再生一時停止にしている画像は DV入力/出力端子を使ってダビングすると粗い画像になります。

また、本機で再生したとき画 像がぶれることがあります。 カセットを準備する。

本 機:電源を準備して、録画したいカセットを入れる。 再生機:録画済みのカセットを入れる。

- 2 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 3 本機を録画一時停止にする。
 - ●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに**III**一時停止ボタンを押す。



- 4 再生機で再生する。
- 録画したい場面で本機の■■一時停止ボタンを押して録画を始める。

録画が終わったら

本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

再生している画像を拡大する - 再生ズーム

再生しているテープの動画や静止画を拡大 することができます。

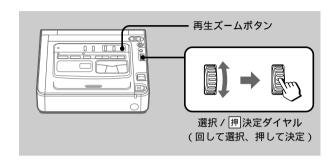
ご注意

- Digital8【)方式以外で記録 したテープでは、再生ズー ムはできません。
- 外部入力している画像に再 生ズームを加えて見ること はできません。
- 再生ズームを加えた画像を 本機で録画することはでき ません。本機を再生機と し、他のビデオへ録画して ください。

再生ズームを加えた画像は PV入力/出力端子からは 出力されません。

再生ズーム中に以下の操作を すると再生ズームは自動的に 解除されます。

- 電源スイッチを「切」にする。
- 再生を停止する。
- メニューボタンを押す。
- タイトルボタンを押す。



画像の中心部が拡大され、

が表示される。

② 選択 / 囲決定ダイヤルを回して拡大された画像を上下に動かし、押して決定する。



↑:画像が下に移動する。

↓:画像が上に移動する。

③ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して拡大された画像を左右に動かし、押して決定する。



- ←: 画像が右に移動する。
 (ダイヤルを下へ回す)
- →:画像が左に移動する。(ダイヤルを上へ回す)

再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

画像に特殊効果を加えて見る - ピクチャーエフェクト

再生しているテープの画像にデジタル処理を して、テレビや映画のような特殊効果を加え て見ることができます。



ネガアート 写真のネガフィルム のように



ソラリ 明暗をはっきりさせた イラストのように

セピア 古い写直のような色合いに

モノトーン 白黒に

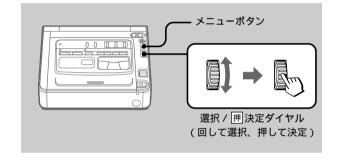
ご注意

- Digital8▮}方式以外で記録 したテープに、ピクチャー エフェクトを加えて見ることはできません。
- 外部入力している画像にピ クチャーエフェクトを加え て見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加 えた画像を本機で録画する ことはできません。本機を 再生機とし、他のビデオへ 録画してください。

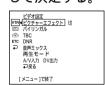
ピクチャーエフェクトを加え た画像は

DV入力/出力端子からは出力されません。

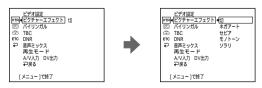
電源スイッチを「切」にするか、再生を停止すると ピクチャーエフェクトは自動 的に解除されます。



- **1** [再生中]または[再生一時停止中]に
 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- ② 選択/囲決定ダイヤルを回して™を選び、押して決定する。



③ 選択 / 厘決定ダイヤルを回して「ピクチャーエフェクト」を選び、ダイヤルを押す。



4 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望のピク チャーエフェクトを選び、押して決定する。

ネガアート

次の順で変わります。 ネガアート←→セピア←→モノトーン←→ソラリ

5 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

ピクチャーエフェクトを解除する メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選び決定する。

特殊な演出を加えて見る - デジタルエフェクト

再生しているテープの画像にデジタル機能を使ってさまざまな演出を加えることができます.

スチル

あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ね て再生する。

フラッシュ(フラッシュモーション) コマ送り再生をする。

ルミキー(ルミナンスキー) あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分 に、動画をはめ込む。

トレイル 被写体の動きが、尾を引くように再生する。 (スチル) 静止画 動画

(ルミキー) 静止画 動画

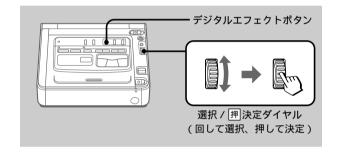
ご注意

- Digital8 → 方式以外で記録 したテーブに、デジタルエ フェクトを加えて見ること はできません。
- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて 見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加え た画像を本機で録画することはできません。本機を再 生機とし、他のビデオへ録 画してください。

デジタルエフェクトを加えた 画像は

DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切」にするか、再生を停止すると デジタルエフェクトは自動的 に解除されます。



- 1 [再生中]または[再生一時停止中]に デジタルエフェクトボタンを押す。 デジタルエフェクト表示が出る。
- ② 選択 / 厘決定ダイヤルを回して希望のデジタルエフェクトを選ぶ。



次の順で変わります スチル←フラッシュ←→ルミキー←→トレイル

- 3 選択 / 押決定ダイヤルを押して決定する。 表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。 スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。
- 選択/囲決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

スチル	再生中の動画の背景にある静止画 の映り具合。
フラッシュ	コマ送りの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の 明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。

スチル |||||||

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。

デジタルエフェクトを解除する デジタルエフェクトボタンを押し、表示を消す。

見たい場面にすばやく戻す - ゼロセットメモリー

テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダー に付属のリモコンで操作できます。 デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説 明書もあわせてご覧ください。



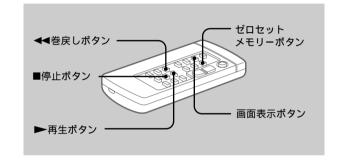
再生中に、後からもう一度見たいと 思う場面があったとき。

ご注意

- Digital8トラ方式以外で記録 したテープでは、ゼロセットメモリーはできません。
- 巻き戻す前にゼロセットメ モリーボタンをもう一度押 すと、ゼロセットメモリー が解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。

テープの途中に無記録部分が あると

ゼロセットメモリーが正しく 働かない場合があります。



- [再生中]に 画面表示ボタンを押す。
- ② 後から見たい場面でリモコンのゼロセットメ モリーボタンを押す。

テープカウンター値が「0:00:00」になり、カウントを始める。

ゼロセットメモリー表示が点滅する。

- 3 再生し終わったら■停止ボタンを押す。
- 4

 本

 参戻しボタンを押す。
 テーブカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

録画・撮影日の変わり目を探す - 日付サーチ

録画または撮影した日付の変わり目を自動的に探し、そこから再生を始めることができます(日付サーチ)。

いつ 使う? 録画・撮影日の変わり目を確認した り、録画・撮影日ごとに編集すると き。

ソニーのデジタルビデオカメ 2002 7.3. = ラレコーダーに付属のリモコ ンで操作できます。

デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

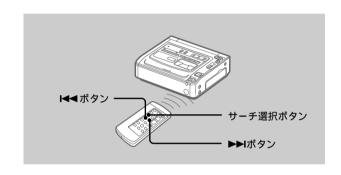


ご注意

- Digital8[)方式以外で記録 したテープでは、日付サー チはできません。
- 日付や時刻を合わせないで、録画または撮影したテープでは、日付サーチは働きません。
- 日付の変更点の間隔は2分 以上必要です。間隔が短い と正しく検出されない場合 があります。

テープの途中に無記録部分が あると

日付サーチが正しく働かない ことがあります。



1 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。



次の順で変わります。

→ 日付サーチ → フォトサーチ ー (表示なし)←フォトスキャン←

② リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、I◀◀ボタンを、日付を進めるときは、▶▶Iボタンを押す。日付の変わり目で自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前(►►) または後ろ(►►) の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーで テープフォト撮影した静止画を頭出しできます(フォトサーチ)。

また、静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ 再生することもできます(フォトスキャン)。 ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーに 付属のリモコンで操作できます。 デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明 書もあわせてご覧ください。



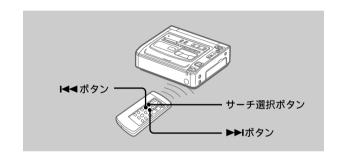
静止画の場面を確認したり、静止画 をまとめて編集するとき。

ご注意

Digital8**▶**分式以外で記録したテープでは、フォトサーチ/フォトスキャンはできません。

テープの途中に無記録部分が あると

フォトサーチ/フォトスキャンが正しく働かないことがあ ります。



静止画を探す - フォトサーチ

リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。



次の順で変わります。

→ 日付サーチ → フォトサーチ — (表示なし) ← フォトスキャン←

② リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。

静止画が再生される。

ボタンを押した回数だけ前(I◀◀)または後ろ(▶▶I)の 静止画が再生される。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

静止画を次々に探す - フォトスキャン

リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。

フォト 00 スキャン 次の順で変わります。

→ 日付サーチ → フォトサーチ —

(表示なし)←フォトスキャン←

② リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。 静止画が約5秒ずつ再生される。

フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

日付データ / カメラデータなどの表示を出す - 画面表示機能

本機で録画したテープは、再生中に録画したときの日付・時刻を確認できます。また、データコード機能付きのDigital8[)方式の

ビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは、再生中に、撮影したときの日付・時刻やカメラデータを確認できます。

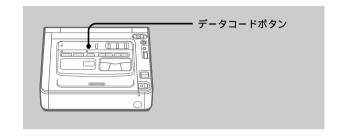
ご注意

Digital8**₹**)方式以外で記録したテープでは、データコードは表示されません。

次のときは、「---- -- 」 「--:--:- 」を表示します。

- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどで データコードを読み取れない。
- 日付・時刻を設定しないで 録画または撮影したテープ

カメラデータとは 撮影したときのビデオカメラ の設定の情報です。

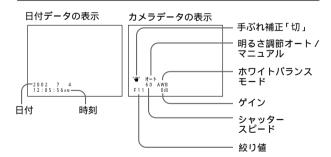


データコード機能とは

録画または撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に 画像とは別にテープに記録する機能です。

- 電源スイッチを「入」にして、テープを再生する。
- ② データコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。 「日付データの表示」 「カメラデータの表示」 (表示なし)



カメラデータの表示を出さないようにする メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ(48ページ)。 データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。 「日付データの表示」 (表示なし)

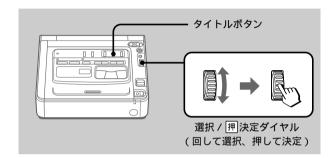
タイトルを入れる

本機にあらかじめ登録してある8種類のタイ トルと、自分で作ったオリジナルタイトル2 種類(27ページ)の中から選んで、タイトル を入れることができます。また、タイトルの 色やサイズ、表示位置も選べます。



タイトルを入れて録画中に メニューボタンを押してメ ニュー画面を表示している間 は、タイトルが記録されませ h_{\circ}

オリジナルタイトルを入れる ときは 手順②で 回を選びます。



🚹 タイトルボタンを押す。

タイトルメニューが表示される。



選択/囲決定ダイヤルを回して口を選び、 押して決定する。



タイトルを入れる(つづき)

設定表示と表示順

- •「色設定」 しろ↔きいろ↔むらさき ↔あか↔みずいろ↔ みどり↔あお
- 「サイズ設定」 ちいさい←→おおきい 12文字をこえるタイトル には「おおきい」サイズの 設定はできません。12文 字をこえるとサイズ決定 後、「ちいさい」サイズに 戻ります。
- •「位置設定」 $1 \leftrightarrow 2 \leftrightarrow 3 \leftrightarrow 4 \leftrightarrow 5 \leftrightarrow 6$ ←7←8←9 大きい数字になるほど位置 が下になります。 サイズ設定で「おおきい」 を選んだときは、9の位置 は選べません。

タイトルの選択/設定操作を しているときは 画面に出ているタイトルは記 録できません。

再生中に

タイトルを重ねることができ ます。ただし、テープには記 録できません。

AV接続ケーブルをつないで 他機へダビングするとタイト ルも記録することができま

i.l INKケーブルをつないでダ ビングする場合はタイトルは 記録できません。

3 選択/厠決定ダイヤルを回して入れたいタイ トルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。



表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいとき は手順のにすすむ。

1 選択 / 厠決定ダイヤルを回して「色設定 または「サ イズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。 選べる項目が出る。



2 選択 / | 押決定ダイヤルを回して希望の項目を選 び、押して決定する。



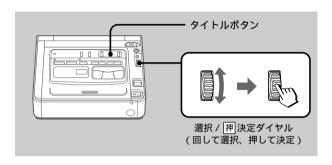
- **3** 必要なだけ**1**、**2**を繰り返す。
- 6 選択/厘決定ダイヤルを押して、タイトルを 表示させる。
- 6 録画を始める。
- 7 タイトルを消したい場面でタイトルボタンを もう一度押す。

録画の途中でタイトルを入れるとき

録画中にタイトルボタンを押し、手順2から6を行う。手順6 で選択 / 押決定ダイヤルを押した時、タイトルが記録され る。

オリジナルタイトルを入れる

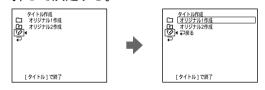
20文字以内のタイトルを自分で作って2種類 まで本機に記憶できます。



タイトルボタンを押す。



選択/厠決定ダイヤルを回して「ゆを選び、 押して決定する。



3 選択/囲決定ダイヤルを回して「オリジナル 1作成」または「オリジナル2作成」を選び、 押して決定する。



オリジナルタイトルを入れる(つづき)

[きごう]を選ぶと

アルファベットや数字、漢字などが選べる画面が出ます。 [かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき [←]を選びます。一番後ろの 文字が消えます。

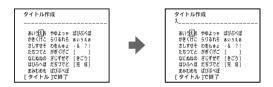
漢字変換機能は

ありません。[きごう]にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

空白を入れたいとき [& ?!]の文字列の空 白部分を選んでください。 4 選択 / 厘決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。



5 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望の文字を 選び、押して決定する。



- **⑤** 手順**④**、**⑤**を繰り返して希望のタイトルを作る。
- 選択/囲決定ダイヤルを回して[完成]を選び、押して決定する。
 タイトルが記憶される。
- **8** タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

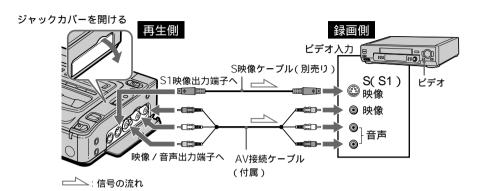
作成したタイトルを変更する

手順❸で変更したいオリジナルタイトルを選び、押して決定する。

[←]を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

他のビデオヘダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ



次のボタンを押して画面の表示を消してからダビングしてください。

- 画面表示ボタン
- データコードボタン 消さないでダビングするとテー プに記録されてしまいます。

録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます。

8, Hi 8, VHS, VHSD, SVHS, SVHSD, B, EDBeta, Mini DV, DV, E),

録画機の音声入力がひとつ (モノラル)の場合 AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。(赤いプラグはどちらにもつながないでください。)音声はモノラルです。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現できます。ビデオにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像出力端子とビデオのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

1 カセットを準備する。

本 機:電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。 録画機:ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。 詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 4 本機で再生する。
- 録画機で録画をはじめる。
 詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

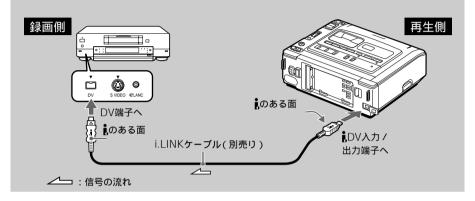
録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

他のビデオヘダビングする(つづき)

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(別売り)でつなぎダビング・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。 画面表示はダビングできません。



Digital8**₹**)方式以外で記録したテープでは

画像が乱れることがあります が、故障ではありません。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープを再生中は ♣DV入力 / 出力端子からの映像信号はデジタル信号が出力 されます。

i.LINKケーブルで本機と接続 できるのは1台だけです i.LINKについて詳しくは、 56ページをご覧ください。

「ピクチャーエフェクト」「デジ タルエフェクト」「再生ズーム」 を加えた画像は

DV入力/出力端子からは出力されません。

再生一時停止にしている画像は DV入力/出力端子を使って ダビングすると粗い画像にな ります。

また、他機で再生したとき画 像がぶれることがあります。 1 カセットを準備する。

本 機:電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。 録画機:ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機の電源スイッチを「入」にする。
- 4 本機で再生する。
- 録画機で録画をはじめる。
 詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧くだされ。

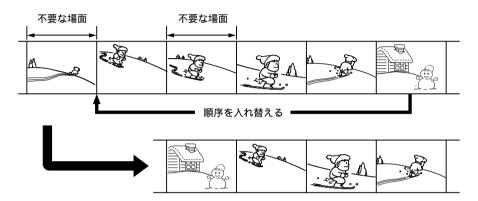
ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

必要な場面を選びダビングする

- デジタルプログラムエディット

録画済みのテープから必要な場面(プログラム)を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、 録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビングできます。 場面はフレーム単位で選べます。 最大20プログラムまで設定できます。



ご注意

- Digital8┠分方式以外で記録 したテーブでは、デジタル プログラムエディットはで きません。
- i.LINKケーブルで接続した とき、録画機の機種により 正しく操作できない場合が あります。本機の「コント ロール選択」を「リモコン」 に設定してください。
- デジタルプログラムエ ディットの操作信号は、
 CANC端子では送信できません。
- 設定を画面表示で確認する ときは、SUPER LASER AVLINKを使って本機をテ レビやモニターとつなげて ください。

i.LINKケーブルでつなぐと デジタルで信号のやりとりを するので、画質、音質の劣化 がほとんどありません。

デジタルプログラムエディットには、次の準備が必要で

す

準備1: 録画機をつなぐ(31ページ)

準備2: 緑画機を操作するための設定をする

- AV接続ケーブルでつなぐ(32ページ)

- i.LINKケーブルでつなぐ(35ページ)

準備3: 録画機のタイミングを補正する(36ページ)

上記の準備を一度行なった録画機を使用する場合は準備2、3は 不要です

操作は以下の順で行ないます

操作1: プログラムを作る(38ページ)

操作2: プログラムを実行する(ダビングする)(41ページ)

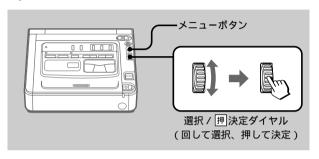
準備1録画機をつなぐ

AV接続ケーブル、i.LINKケーブルどちらでも接続できます。 AV接続ケーブルの場合は29ページ、i.LINKケーブルの場合は 30ページの図のように接続します。

必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)

準備2 録画機を操作するための設定をする ーAV接続ケーブルでつなぐ

AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。 正しく信号を送るために以下の設定(①~④)を行ってください。



- リモコンコードを設定する
 - **1** 本機の電源スイッチを「入」にする。
 - 2 録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。 録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源 スイッチを「ビデオ」にする。
 - **3** メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
 - **4** 選択 / 押決定ダイヤルを回して、配を選び、押して決定する。



5 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。



リモコンコードについて 本機には、下記のリモコン コードが記憶されています。 お使いの録画機のリモコン コードを設定してください。 お買い上げ時、本機は「3」に 設定されています。

12,220100000		
メーカー	リモコンコード	
ソニー	1、2、3、4、 5、6	
アイワ	47、54、55、 57、60、64	
キヤノン	97	
コルディナ	34	
富士通	34	
フナイ	61、80	
ゴールドスター	47	
日立	43、47、56、 75	
ビクター	12、13、14、 21	
マルマン	26	
三菱	22、27、28、 29	
N E C	35、65、66、 67	
オリオン	69、72	
松下	16、18、19、 78、79、96	
フィリップス	83	
パイオニア	31	
三洋	36、38、46	
シャープ	88、89、90、 98	
東芝	39、40、68	
ユピテル	47	

リモコンコードが対応してい ない機種は、デジタルプログ ラムエディットはできませ h_{\circ}

- 6 選択 / | 押決定ダイヤルを回して、「コントロール選 択」を選び、押して決定する。
- 7 選択/厠決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選 び、押して決定する。



8 選択 / | 押決定ダイヤルを回して、「リモコンコー ド」を選び、押して決定する。



選択 / | 押決定ダイヤルを回して、録画機の リモコンコード(番号)を選び、押して決定する。 「リモコンコードについて」を参照する。



- 2 録画機の録画一時停止解除モードを設定する
 - 1 選択 / 厠決定ダイヤルを回して、「一時停止解除 モード」選び、押して決定する。



必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)

録画一時停止解除モードにつ いて

お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。(ボタンの種類は録画機により異なります。)

それぞれのボタンに合った録 画一時停止解除モードを設定 してください。

録画機の 録画一時停止 ボタン 解除モード ■ (一時停止)「一時停止」

●(録画) 「録画」

(再生) 「再生」

2 選択 / 押決定ダイヤルを回して、録画機の録画一 時停止解除モードを選び、押して決定する。



3 再生機と録画機の向きを合わせる

本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい 合わせる。

機器の距離は約30cm以上離し、間に障害物等がない状態にする。



4 録画機が正しく動くか確認する

- 1 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。
- **2** 選択 / 押決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。

3 選択/厠決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、 押して決定する。

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されてい

終了すると画面表示は「完了」に変わる。



録画機が正しく動作したら

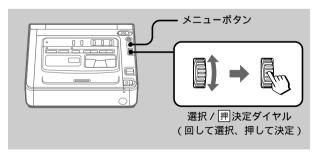
36ページの準備3へ進む。

録画機が正しく動作しないとき

- •「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコン コード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cm以上離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

準備2 録画機を操作するための設定をする -i.LINKケーブルでつなぐ

i.LINKケーブルで接続したときはこの設定を行ないます。



本機の電源スイッチを「入」にする。

ご注意

i.LINKケーブルでつなぐと タイトル・画面表示はダビン グできません。

必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)

② 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」 にする。

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

- 3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 4 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、EEEを選び、押して決定する。
- 5 選択/囲決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

```
その地
VM エディット設定

② コントロール選択
ウイミング組定
・ タイミング組定
・ ここまで 「独正
・ ここまで 「独正
・ リモコンコード
・ 時別に解発モード
・ リモコンプネアト
・ 子皮を
・ スニー)で終了
```

- 6 選択/囲決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。
- ⑦ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「i.LINK」
 を選び、押して決定する。

ご注意

- タイミング補正用の画像が 約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。

準備3録画機のタイミングを補正する

筆記具をご用意ください。

本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。 本機のテープを取り出しておいてください。

「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは不要です。

② 選択/囲決定ダイヤルを回して、「タイミン グ補正」を選び、押して決定する。



ご注意

i.LINKケーブル接続で録画機

の操作がうまく行なえないと

35ページの準備2からやり直してください。映像/音声は

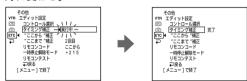
デジタル信号で送られます。

きは、接続はそのままで、

③ 選択/囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った 画像が録画される。

終了すると画面表示は「実行中」の点滅から「完了」の点 灯に変わる。



- 4 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。 5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。
- **5** 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。
- **6** 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「"ここから"補正」を選び、押して決定する。



7 選択 / 厘決定ダイヤルを回して、「ここから」の平均値の数値を選び、押して決定する。 録画開始のタイミングが補正される。

必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)

8 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「"ここまで"補正」を選び、押して決定する。



- 9 選択/
 囲決定ダイヤルを回して、「ここまで」の平均値の数値を選び、押して決定する。
 録画停止のタイミングが補正される。
- ・ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「⊋戻る」を選び、押して決定する。

ご注意

- メニューで「再生モード」を「Hi®/®」にしたとき、デジタルプログラムエディットはできません。
- デジタルプログラムエ ディット操作中は録画する ことができません。

テープの次の部分には、「こ こから」「ここまで」の設定は できません。

- Digital8
 → 方式以外で記録 された部分。
- 無記録部分

次の場合、タイムコードが正 しく表示されません。

- Digital8子方式以外で記録 したテープ。
- 「ここから」と「ここまで」 の間に無記録部分があると き。

操作1 プログラムをつくる

- 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録 画するカセットを入れる。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- **3** 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、配を選び、押して決定する。



4 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。



- **⑤** ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分 の始めを探し、再生一時停止にする (8ページ)
- 6 選択/囲決定ダイヤルを押す。 最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプロ グラムマークの上側が水色に変わる。



- 「デオ操作ボタンを使って、録画したい部分」 の終わりを探し、再生一時停止にする。
- 8 選択 / 囲決定ダイヤルを押す。 最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプロ グラムマークの下側が水色に変わる。



手順**6**~**8**を繰り返し、プログラムを設定す る。

> プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に 変わる。

最大20プログラムまで設定できます。



必要な場面を選びダビングする - デジタルプログラムエディット(つづき)

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で 消去していきます。

- 選択/囲決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。
- ② 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り 消されます。

消去を中止する

手順の②で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムの全消去

- メニューでECO項目の「プログラムエディット」を選ぶ。
- ② 選択 / 囲決定ダイヤルを回して、「全消去」を 選び、押して決定する。
- 3 選択/囲決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り 消されます。

全消去を中止する

手順の❸で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

以下の場合には、録画機で録画できません。

- カセットが入っていない。
- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。(「リモコン」に設定したとき)
- 録画一時停止解除モードが まちがっている。(「リモコン」に設定したとき)

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません。

- プログラムが未設定
- i.LINKケーブルを接続していない。(「i.LINK」に設定したとき)
- 接続している録画機の電源が入っていない。

操作2 プログラムを実行する(ダビングする)

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。(i.LINKケーブルで接続したときは不要です。)

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

- メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選ぶ。
- **2** 選択 / 厠決定ダイヤルを回して、「スタート」 を選び、押して決定する。
- 3 選択 / 厘決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。 画面表示は、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。

ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水 色に変わる。

ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

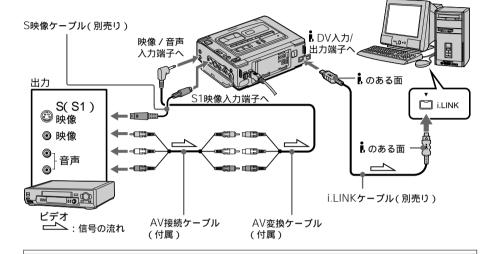
デジタルプログラムエディットを終了する ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエ ディット」の設定画面に戻る。

メニューボタンを押し、表示を消す。

アナログ機器とパソコンをつなげて使う

- デジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像、音声を本機を通して、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取り込めます。



ご注意

- ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号 の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに 入力した場合、正しい映像 を出力することができない ことがあります。
- ・著作権保護の為の信号 (ID-2方式など)が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。

アナログビデオ機器の映像・音声をパソコンに取り込む

- 本機の電源スイッチを「入」にする。
- ② メニューで呼の項目の「A/V入力→DV出力」 を「入」にする(47ページ)。
- **3** アナログビデオ機器で再生を始める。
- 4 パソコンで取り込みを始める。 取り込む操作は、お使いになるパソコンのソフトウェア によって異なります。お使いになるソフトウェアの取扱 説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

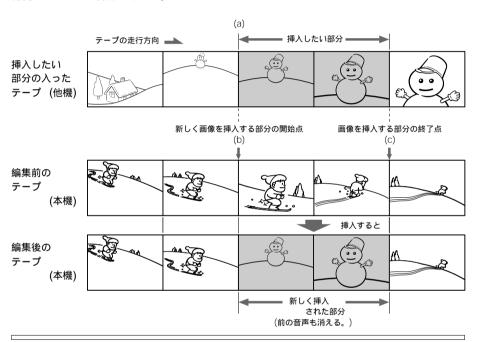
パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器の再生 を停止する。

録画したテープに新しく画像を挿入する

録画済みテープの指定した部分に、他のビデ オからの映像・音声を挿入(インサート編 集)できます。

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーに 付属のリモコンで操作できます。

13ページまたは14ページの接続と準備を し、挿入したい部分の入ったテープを他機に 入れておきます。



ご注意

- Digital8[]方式以外で記録 したテープでは、ゼロセッ トメモリーはできません。
- 新しく挿入された部分の編 集前の映像と音声は消えま

新しく挿入された部分を再生 すると

終了点の画像や音声が乱れる ことがありますが、故障では ありません。



本機の電源スイッチを「入」にする。

録画したテープに新しく画像を挿入する(つづき)

終了点を設定せずに録画する ときは 手順③、④をとばします。 終了したいところで■停止ボ タンを押します。

- ② 他機(再生側)で、挿入したい部分(a)の少 し前で、再生一時停止状態にする。
- 3 本機で、挿入部分の終了点(c)を探し、再生 一時停止状態にする。
- 4 リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。 「ゼロセットメモリー」表示が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。



- 5 本機で、挿入部分の開始点(b)を探し、録画 一時停止状態にする。
 - ●録画ボタンを2つ同時に押す。



6 他機(再生側)の一時停止ボタンを先に押し、 数秒後に本機のⅡ一時停止ボタンを押す。

> 本機の挿入部分に、新たに他機(再生側)の映像と音声が 記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近(c)で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順⑤の後でゼロセットメモリーボタンをもう一度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順⑤からやり直す。

メニューでお買い上げ時の設定を変える

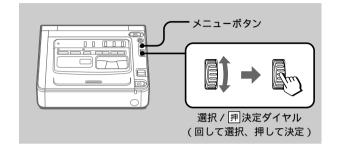
画面上のメニュー項目を、選択/押決定ダイヤ ルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部 変更することができます。

次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は 以下のアイコン(絵文字)で 区別されています。

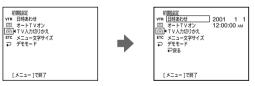
- VTR ビデオ設定
- □ テープ設定
- □ 初期設定
- ETC その他



電源スイッチを入れて、メニューボタンを押 す。

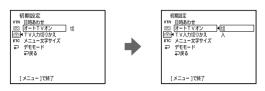


選択 / | 押決定ダイヤルを回して希望のアイコ ンを選び、押して決定する。

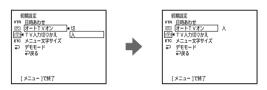


メニューでお買い上げ時の設定を変える(つづき)

③ 選択 / 囲決定ダイヤルを回して希望の項目を 選び、押して決定する。



選択 /
 囲決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。



5 必要なだけ手順**2**~**4**を繰り返す。

手順②に戻るには、選択/囲決定ダイヤルを回して 「→戻る」を選び、押して決定する。

詳しくは「各設定項目の説明」(47ページ)をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

(コン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)
ピクチャー	切	画像に特殊効果をかけない。
エフェクト	ネガアート	画像を写真のネガフィルムのようにする。
	セピア	画像を古い写真のような色合いにする。
	モノトーン	画像を白黒にする。
	 ソラリ	画像を明暗をはっきりさせたイラストのようにする。
バイリンガル	切	ステレオ音声または主+副音声で再生する。(55ページ)
	メイン	左音声または主音声で再生する。
	サブ	右音声または副音声で再生する。
TBC*	λ	ジッター(再生時の画像の横ユレ)を低減する。
	切	画像の乱れ補正が働かない。 (ダビング等を繰り返したり、ゲーム機の信号などを記録した
TBCとは Time E	s-ス コレクター Base Corrector の	テープを再生するとき))略です。
DNR*	λ	画像の色ノイズを目立たなくする。
	切	動きの激しい画像のとき残像を目立たなくする。
デジタル DNRとは Digita	ノイズ リダクション I Noise Reductio	n の略です。
音声ミックス		音声モードST1←→ST2間のバランスを調節する。
		ST1 A ST2
再生モード	オート	再生テープを自動判別(Hi8/スタンダード8ミリ方式または Digital8[う方式)して、再生する。
	Fii 8 / 8	自動判別できないHi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテプを、再生する。
A/V入力 →	切	本機を通してデジタル画像をアナログ出力する。

^{*}Hi8/スタンダード8ミリ方式での再生時のみ

λ

音声ミックスは

DV出力

- 16ビットモードで記録された テープのバランスを調節する ことはできません。
- Digital8[)方式以外で記録し たテープのバランスを調節す ることはできません。

再生モードは

次のときお買い上げ時の設定に

本機を通してアナログ画像をデジタル出力する。(42ページ)

戻ります。

- 電源をはずしたとき
- 電源スイッチを切ったとき

メニューでお買い上げ時の設定を変える(つづき)

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)
◎ 録画モード	SP	SP(標準)モードで録画する。
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。
音声モード *	12BIT	12ビットモード(2つのステレオ音声)の記録、再生ができる。
	16BIT	16ビットモード(高音質で1つのステレオ音声)の記録、再生ができる。
テープ残量表示	オート	以下のときにテーブ残量を表示する。 電源/テープを入れた後、テーブ残量が確定してから8秒間。□ 再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。
	λ	テープ残量を常に表示する。
データコード	日付 / カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻とカメラデータ を表示する。
	日付データ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻を表示する。

LPモードについて

- LPモードでは本機で記録したテーブを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のテープをおすすめします。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。
- スタンダード8ミリピテープをお使いの場合「録画モード」で「LP」を選んでも「SP」モードで録画されます。このとき、「Hi8テープでなければLP録画できませんSP録画になります」と画面に表示されます。「LP」モードのときはHi8 上i3 / Digital8 / テープをお使いください。
- * 他のビデオへダビングするとき
 Digital8 か式で記録された
 テープでは音声モードは選べ
 ませんが、Hi8/スタンダード
 8ミリ方式で記録されたテープをi.LINKケーブルで出力す
 るときは、音声モードを選ぶ
 ことができます。

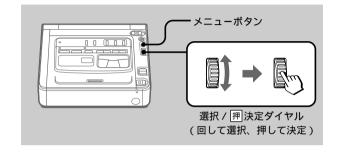
アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)
😑 日時あわせ		日付・時刻を合わせ直す。(50ページ)
オートTVオン	切	
-	λ	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。(12ページ)
TV入力切りかえ	ビデオ1	SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製
	ビデオ2	テレビの入力を切り換える。(12ページ)
-	ビデオ3	
	切	
メニュー文字	ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。
サイズ	2 x	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。
デモモード	切	デモンストレーションを表示しない。
	Д	本機の機能を一覧できる。
ETC 時差補正		時差の設定をする。 選択 / 押 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。
おしらせブザ ー -	メロディー	電源スイッチを入れたときやメニュー操作をするとき、または 誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。
_	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。
リモコン	VTR2	ソニー製ビデオカメラレコーダーのリモコンを使って本機を作 動させる。
_	VTR1、3~6	ソニー製のリモコンを使って本機を作動させる。(10ページ)
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。
プログラム		プログラムの作成、実行をする。(31ページ)
エディット		
エディット設定		デジタルプログラムエディットでダビングするときに、録画機 を操作するための設定とタイミング補正をする。(31ページ)

デモモードについて カセットが入った状態では操作 できません。 電源をはずして5分以上たつと「バイリンガル」、「音声ミックス」はお買い上げ時の設定に戻ります。 その他のメニュー項目は、電源をはずしても設定を保持します。

日付・時刻を合わせ直す

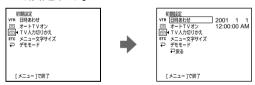
お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定 されていますが、半年近く使わなかったとき などに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日 付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください(65ページ)。

日時を設定しないと テープのデータコードには 「---- -- 」「--:--:-」が記録されます。

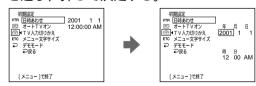


年 月 日 時 分の順で合わせます。

- メニューボタンを押す。
- ② 選択 / 厘決定ダイヤルを回して 昼を選び、押して決定する。



3 選択/囲決定ダイヤルを回して「日時あわせ」 を選び、押して決定する。



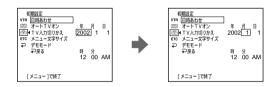
真夜中、正午は 真夜中は12:00:00AM、正午 は12:00:00PMと表示しま す。

4 「年」を合わせる。

選択 / 厘決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

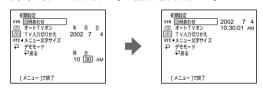
年表示は次のように変わる。





5 手順◆と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

選択 / 押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。



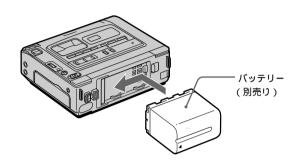
メニューボタンを押す。メニュー画面が消える。

別売りバッテリーを使う

本機の電源には、"インフォリチウム"バッテリー(Lシリーズ)を使用します。

それ以外のバッテリーはお使いになれません。

バッテリーを取り付ける



バッテリーを取り付けた後は バッテリーをつかんで本機を 持ち運ばないでください。

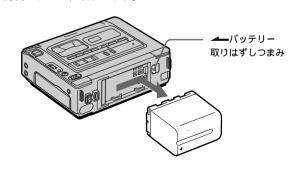
バッテリー残量時間表示について

"インフォリチウム"バッテリーをお使いのときは、あロに対している。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。電源スイッチを「入」にしてから正しい残量時間(分)を表示するのに約1分かかります。

バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで矢印の方向へずらす。

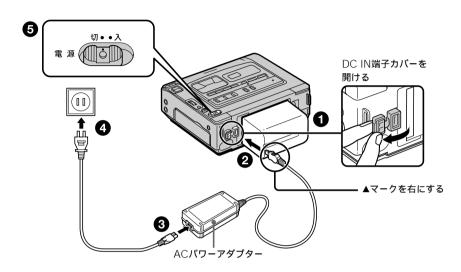
本体からはずす

→バッテリー取りはずしつまみを押しながらバッテリーを矢 印の方向へずらし、取りはずす。



バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。



ご注意

- ACパワーアダプターのDC プラグを金属類でショート させないでください。故障 の原因になります。
- バッテリーは水にぬらさな いでください。
- バッテリーを使用せずに長 期間保管するときは、一度 満充電してから使い切り、 涼しい場所に保管してくだ さい。

満充電になると 電源 / 充電ランプが消灯しま す。

- 1 バッテリーを取り付ける。
- 2 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子に つなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラ グの▲マークを右にしてつなぐ。

- 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。
- 電源コードをコンセントにつなぐ。
- **5** 電源スイッチを「切」にする。 充電が始まると、電源 / 充電ランプが点灯する。

バッテリーの充電が終わったら ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

別売りバッテリーを使う(つづき)

海外でも充電できます 詳しくは63ページをご覧く ださい。

バッテリー残量の表示時間が 充分なのに電源がすぐに切れ るときは 満充電すると正しく表示され ます。

バッテリーは 室温10 ~30 で充電する ことをおすすめします

再生時間

右の表はDigital8 よう方式再 生時の時間の目安です。 Hi8/スタンダード8ミリ再生 時には、再生できる時間が 20%ほど短くなります。

InfoLITHIUM(インフォリ チウム)バッテリーとは "インフォリチウム"バッテ リーに対応した機器との間 で、バッテリーの使用状況に 関するデータ通信をする機能 を持ったリチウムイオンバッ テリーです。本機は"イン フォリチウム "バッテリー (Lシリーズ)対応です。それ 以外のバッテリーはお使いに なれません。" インフォリチ ウム "バッテリーLシリーズ ついています。 InfoLITHIUM(インフォリ チウム)はソニー株式会社の

商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間(実用充電時間)
NP-F330	150(90)
NP-F530/CF540/F550	210(150)
NP-F730/F750	300(240)
NP-F930/F950	390(330)
NP-F960	420(360)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間(約分)

再生時間

バッテリー	再生時間
NP-F330	105(95)
NP-F530	175(160)
NP-CF540	205(185)
NP-F550	210(190)
NP-F730	365(325)
NP-F750	440(395)
NP-F930	575(520)
NP-F950	675(610)
NP-F960	790(710)

満充電(()内は実用充電)してからの時間(約 分)。 25 で再生したときの時間の目安です。低温では使用時間が短くなります。

NP-500/510/710はお使いになれません。

Digital8(デジタルエイト)分方式と記録・再生

Digital8(デジタルエイト 上)方式とは

Hi8(ハイエイト) HiB/Digital8(デジタルエイト) Hテープに、デジタル記録できるように開発されたビデオ方式です。

使えるカセットテープ

Hi8(ハイエイト) Hii 図/Digital8(デジタルエイト) → プラープをおすすめします。*

Digital8(デジタルエイト)分方式での録画時間は従来のHi8/スタンダード8ミリ方式の録画時間の半分になります(120分テープでは、SPモードで60分)。

* スタンダード8ミリ**図**テープにも録画できますが、本機で再生することをおすすめします。本機以外(他のGV-D200を含む)での再生時にモザイク状のノイズが現れることがあります。

再生方式

Digital8(デジタルエイト YD方式とHi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式を自動判別して再生します。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録された テープを再生中、 DV入力 / 出力端子から、 映像信号はデジタル信号が出力されます。

著作権信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機を つないで本機の画像を記録するとき、記録が 制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。このようなカセットを録画しようとすると画面に「ダビングプロテクトされています 録画できません」の表示が現れます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声多重記録テープを再生するとき

Digital8(デジタルエイト **⅓**方式で記録されたテープのとき

DV方式で記録された音声多重記録テープを、Digital8(デジタルエイト 第3方式テープにデジタルダビングし、再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください(47ページ)。

メニューの 「バイリンガル」	再生され	れる音声
の設定	ステレオを記 録したテープ	二重音声を記 録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声 + 副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録され たテープのとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声を記録 したテープを再生するときは、下の表のよう に必要に応じてメニューの「バイリンガル」 を設定してください。

メニューの 「バイリンガル」	再生され	る音声
の設定	ステレオを記 録したテープ	二重音声を記 録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声+副音声
「メイン」にする	モノラル音声	主音声
「サブ」にする	不自然な音声 になります	副音声

本機では二重音声は記録できません。

ご注意

- Digital8(デジタルエイト ★)方式で記録された テープは、Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ) 方式のビデオ機器では再生できません。
- Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式のRC タイムコードとデータコードの画面表示はできません。
- 他のビデオデッキでPCM録音やアフレコした音声は、本機では再生できません。

8は商標です。

- 1 8 は商標です。

★は商標です。

自動判別中の表示

Digital8(デジタルエイト **♪**方式とHi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式を判別し、自動で再生方式を切り換えます。このとき画面が青画面になり下記の表示が出ます。また「ザー」とノイズ音が出ることがあります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力 /出力端子です。ここでは、i.LINKの規格 や特長について説明します。

i.LINKとは?

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は 通常1台だけです。複数接続できるDV対応 機器と接続するときは、接続する機器の取 扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準 化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100(最大転送速度 約100Mbps*) S200(最大転送速度 約200Mbps) S400(最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によっては i.LINK端子周辺に表記されています。 本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは?

「Megabits per second」の略で「メガビー ピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデー タの容量を示しています。100Mbpsならば 100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については30ページをご覧ください。 また、本機はビデオ機器以外のソニー製 i.LINK(DV)対応機器(パーソナルコン ピュータVAIOシリーズなど)とも接続して ご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

ご注意

i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合は、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いた状態で、i.LINKケーブルを抜き差ししてください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。 4ピン 4ピン(DVダビング時)

i.LINK、id商標です。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検して みましょう。それでも正常に動作しないとき は、テクニカルインフォメーションセンター にお問い合わせください。

画面に「C:□□:□□」のような表示が出たと きは、自己診断表示機能が働いています。 60ページをご覧ください。

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを 「入」にしても動作しない	ACパワーアダプターのプラグが コンセントからはずれている。	コンセントに差し込む。	5
	バッテリーが消耗している/ 入っていない/消耗が近い。	充電されたバッテリー を取り付ける。	52, 53
再生できない	電源スイッチが「入」になっていない。	•「入」にする。	7
	テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	8
ノイズが多かったり、 映らなかったりする	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカ セットできれいにする。	64
音声が小さい または聞こえない	メニューの「パイリンガル」を 「サブ」にしてステレオで記録 されたテーブを再生している。	•「バイリンガル」を 「切」にする。	9, 47
	メニューの「音声ミックス」が 「ST2」側になっている。	• 音声ミックスを調節す る。	47
日付サーチが誤動作する	テープの途中に無記録部分がある。		21
Digital8 ∤ }方式で記録 された部分の画像が 映らない	メニューの「再生モード」が 「 トii 図/図」になっている。	「再生モード」を「オー ト」にする。	47
Hi8/スタンダード8ミリ 方式で記録されたテープが 正しく再生されない		メニューの「再生モード」 を「 トルi 図/図 」にする。	47

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
録画できない	電源スイッチが「入」になっていない。	•「入」にする。	13
	テープが終わりになっている。	巻き戻すか、新しい テープを入れる。	6、8
	カセットが誤消去防止状態に なっている。	そのテープで録画する なら誤消去防止ツマミ を元に戻す。または新 しいテープを入れる。	6
	テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	64
 LPモードで録画できない	スタンダード8ミリテープを使っ ている。	Hi8 ┡li ⊠ /Digital8 ₽ チー プを使う。	48
カセットが取り出せ ない	電源(バッテリーやACパワー アダプター)がはずれている。	電源をきちんと接続する。	5、52
	• バッテリーが消耗している。	充電されたバッテリー を取り付ける。	52, 53
●や≜が点滅し、カセットの取り出しスイッチ以外働かない	結露している。	カセットを取り出して、 約1時間してからもう一 度入れ直す。	64
電源が入っているのに操作できない		ACパワーアダプターまたはパッテリーを取りはずし、約1分後再びACパワーアダプターまたはパッテリーを取り付け電源を入れる。それできないときは本体トのでといるタンを先ので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	5、70
バッテリーの消耗が 早い	• 周囲の温度が極端に低い。		
干11	• 充電が不充分。	・満充電する。	53
	• バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	52

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
本体に取り付けたバッテ リーを充電できない	本機の電源スイッチが「切」に なっていない。	電源スイッチを「切」に する。	53
バッテリー充電中に充電ラ ンプが点滅する	バッテリーが故障している。	テクニカルインフォメー ションセンターにお問い 合わせください。	_
おしらせブザーが5秒間鳴 りつづける	• 結露している。	カセットを取り出し て、約1時間してから もう一度入れ直す。	64
	• 本機に異常が発生している。	カセットを入れ直し、 再度操作し直す。	-
ダビング編集中、i.LINK ケーブルを正しく接続して いるのにモニターに画像が 出ない		i.LINKケーブルを一度ぬ いてからもう一度接続し 直す。	30
デジタルプログラム エディットが働かない	• 録画機側の入力切換ができていない。	• 接続を確認して録画機 側の入力切換スイッチ を設定し直す。	32
	ソニー以外のDV機器と接続している。	• 操作を「リモコン」に する。	32
	無記録部分にプログラム設定しようとしている。	• 録画された部分に設定 し直す。	38
	本機と録画機の録画のタイミン グが合わない。	タイミング補正をする。	36
	• リモコンコードが違う。	正しいリモコンコード を設定する。	33
	メニューの「再生モード」が 「Hi B/B」になっている。	•「再生モード」を「オー ト」にする。	47
リモコンが働かない	リモコンコードが合っていない。または「切」にしている。	リモコンに合わせてメニューの「リモコン」 の設定を変える。	10、49
	リモコンと本体のリモコン受光 部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	
	リモコンの乾電池の⊕極と⊝極が、正しく入っていない。	• ⊕極と⊝極を正しく入 れる。	_
	• 乾電池そのものの寿命。	• 新しい乾電池に交換す る。	_

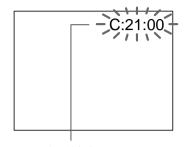
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、 画面にアルファベットと数字の5桁の表示で お知らせする機能です。表示によって、本機 の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁()の数字は、本機の状態によって変わります。

画面



自己診断表示

^гС: : ...:

お客様自身で正常に戻せる状態

「E: : 」:

テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせしていただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:	" インフォリチウム '以外のバッ テリーを使用している。	" インフォリチウム "バッテリーをご使 用ください。	52
C:21:	結露している。	カセットを取り出して、約1時間して からもう一度入れ直す。	64
C:22:	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれ いにする。	64
C:31: C:32:	お客様自身で対応できる上記以 外の状態になっている。	カセットを入れ直し、再度操作し直す。電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	-
E:61: E:62:	お客様自身で対応できない状態 になっている。	テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせください。その際 は、表示の5桁すべてをお知らせくだ さい。 例:E:61:10	-

お客様自身で対応できる場合でも、二、三度繰り 返しても正常に戻らないときは、テクニカルイン フォメーションセンターにお問い合わせくださ い。

警告表示とお知らせメッセージ

警告ランプが点滅し、画面に次のような表示 が出ます。詳しい説明は、()内のページ にあります.

警告ランプのみが点滅し、画面に警告表示が 出ないときは、テクニカルインフォメーショ ンセンターにお問い合わせください。

♪:おしらせブザー音が鳴ります。

三位:電源/充電ランプが点滅します。

○:警告ランプが点滅します。

○○バッテリー残量

バッテリー残量表示について*



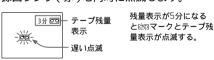
残量表示が←□になると画面に←□マークが点 滅する。

* 残量時間は使用状況や環境により正しく表 示されない場合があります。



テープ残量

録画ランプ(赤)も同時に点滅します。



♪☆テープの終わり

録画ボタンを押したときのみ出ます。



日付・時刻の未設定(50ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出 る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電し ています。充電してください(65ページ)



迎≒☆バッテリーの寿命

"インフォリチウム"バッテリーをお使いの ときのみ表示が出ます。

このバッテリーは 古くなりました 取りかえてください

♪☆カセットが入っていない

録画ボタンを押したときのみ出ます。



♪○カヤット誤消去防止

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。録 画ボタンを押したときのみ出ます。



♪☆ダビングできない(55ページ)

著作権保護のための信号が記録されている画 像を本機で録画しようとしたとき出ます。

ダビングプロテクト されています 録画できません

警告表示とお知らせメッセージ(つづき)

☆ヘッド汚れ(64ページ)

クリーニングカセットできれいにする。



♪☆結露(64ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたま ま約1時間放置する。



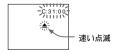
♪☆自己診断表示機能が働いている (60ページ)

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「○□□□□□」のような表示が出たら、60ページをご覧ください。



♪☆その他の異常

電源を一度取りはずし、取りつけ直してから 再度操作し直す。それでも表示が消えないと きは、テクニカルインフォメーションセン ターにお問い合わせください。



♪☆LPモードで録画できない (48ページ)

LPモードのときはHi8**Hi B**/Digital8**F**)テープをお使いください。



☆沖(** インフォリチウム **バッテ リー(54ページ)



海外で使う

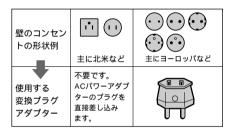
本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L15A は、 全世界の電源(AC100V~240V・50/ 60Hz)でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、 電源コンセントの形状の異なる国または地域 では、電源コンセントにあった変換プラグア ダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずね の上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)はご 使用にならないでください。故障の原因とな ることがあります。

海外のコンヤントの種類



再生画像を見るには、日本と同じカラーテレ ビ方式(NTSC)で、映像/音声入力端子付 きのテレビ(またはモニター)および接続 ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国 または地域(五十音順)

ニカラグア

・バミューダ

バルバドス

フィリピン

• ベネズエラ ・ペルー

サモア

ボリビア

・ホンジュラス

ヨクロネシア

ミャンマー

・メキシコ

・プエルトリコ

ハイチ

パナマ

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- ・コスタリカ
- コロンビア
- スリナム セントルシア
- 大韓民国 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ

時差補下機能について

海外でお使いになるときはメニューで ETC「時差補正」を選べば、時差を設定するだ けで時刻を現地時間に合わせることができま す。詳しくは49ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、お知らせブザーが鳴り、画面に下のように警告表示が出ます。

結露しています カセットを 取り出してください



(5秒間表示)

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出し→→ つまみ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。 次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

Digital8 (デジタルエイト **★**)方式での 再生 / 録画

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 画面に「◆ヘッドが汚れています」と「☆クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。

ビデオヘッドが汚れているときの画像







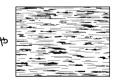
ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。

Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式での再生

- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像





このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。

ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使って コンセントにつなぐか、充電されたバッテ リーを取り付け、電源スイッチを「切」にし て24時間以上放置する。

結露が起こりやすいのは 次のように、温度差のある場所 へ移動したり、湿度の高い場所 で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房 の効いた場所へ持ち込んだと
- 冷房の効いた部屋や車内から 暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは 長時間使用すると摩耗します。 クリーニングカセットを使って も鮮明な画像に戻らないとき は、ヘッドの摩耗が考えられま す。このときは、ヘッドの交換 が必要です。テクニカルイン フォメーションセンターにお問 い合わせください。

主な仕様

システム

緑画方式 回転2ヘッドヘリカルスキャン

録音方式 回転2ヘッド

12ビット32kHz (ステレオ1、ス

テレオ2)

16ビット48kHz (ステレオ)

NTSCカラー、EIA標準方式 映像信号

使用力セット Hi8(ハイエイト)/Digital8(デ

ジタルエイト)ビデオカセット

テープ

録画/再生時間 SPモード: 60分(Hi8 120分)

テープ使用時)

LPモード: 90分(Hi8 120分

テープ使用時)

早送り、巻き戻し時間 約5分(Hi8 120分テープ使用時)

入・出力端子

S1映像入力端子 4ピンミニDIN(1)

輝度信号: 1Vp-p、75 不平

衡、同期負

色信号: 0.286Vp-p、 75 不平衡

S1映像出力端子 4ピンミニDIN(1)

輝度信号: 1Vp-p、75 不平

衡、同期負

色信号: 0.286Vp-p、

75 不平衡

映像/音声入力端子 AVミニジャック(1)

> 映像:1Vp-p、75 不平衡 音声:327mV、インピーダンス

47k 以上

映像出力端子 ピンジャック(1)

1Vp-p、75 不平衡

音声出力端子 ピンジャック(L、R)(2)

327mV(47k 負荷時)

インピーダンス 1k 以下

RFU DC OUT端子 特殊ミニジャック DC5V

DV入力/出力端子 i.LINK(IEEE1394.4ピンコネク

ヘッドホン端子 ステレオミニジャック(Ø3.5)

IANC端子 ステレオミニミニジャック

(02.5)

SUPER LASER AVLINK

IR空間伝送FIA J*準拠 映像 / 音吉 Lch: 4.3MHz 音声キャリア

R ch · 4 8MHz

*FIAJ(日本雷子機械丁業会)規格

電源部、その他

雷源雷圧 7.2V(バッテリー端子入力)

8.4V(DCIN端子)

消費雷力 録画時 3.5W

> (Digital8 [)方式) 再生時 3.0W

(Digital8 1)方式)

スーパーレーザーエーブイリン ク使用による再生時: 4.0W

(Digital8 [)方式)

動作温度 0 ~ +40 保存温度 - 20 ~ + 60

最大外形寸法 148 × 50 × 135mm

(幅×高さ×奥行き)

本体質量 約660g(テープ含まず) 付属品

ACパワーアダプター

AC-L15A(1) AV接続ケーブル(1) AV変換ケーブル(1) 電源コード(1) 取扱説明書(1)

安全のために(1)

保証書(1)

ACパワーアダプターAC-L15A

AC100V ~ 240V, 50/60Hz 雷源

消費電力 18 W DC8.4V** 定格出力 0 ~+40 動作温度 保存温度 - 20 ~ +60 外形寸法 約56×31×100mm

(最大突起部をのぞく) (幅×高さ×奥行き)

質量 約190g(本体のみ)

* * その他の仕様についてはAC アダプターのラベルをご 覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更するこ

とがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。このデジタルビデオカセットレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを 「故障かな?と思ったら」の項を参考にして 故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター(本書の裏面参照)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

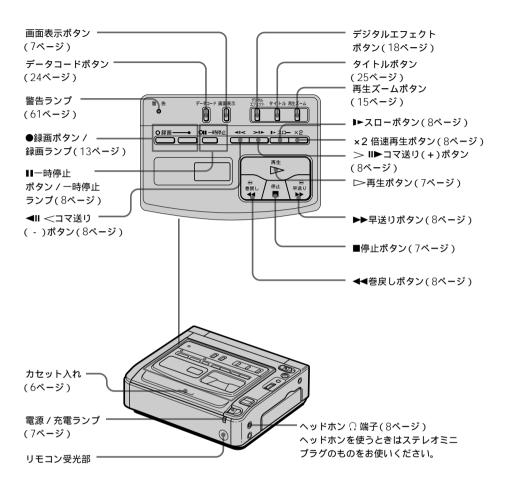
保証書の記載内容に基づいて修理させていた だきます。詳しくは保証書をご覧ください。

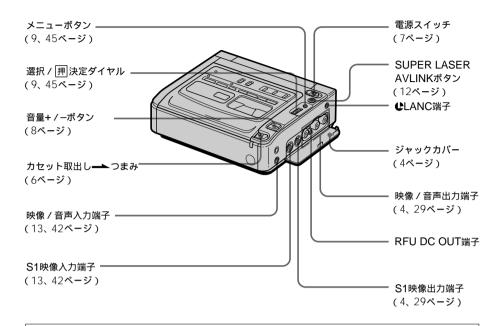
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカセットレコーダーの 補修用性能部品(製品の機能を維持するため に必要な部品)を製造打ち切り後約8年間保 有しています。この部品保有期間が経過した 後も、故障箇所によっては修理可能の場合が ありますので、テクニカルインフォメーショ ンセンターにお問い合わせください。





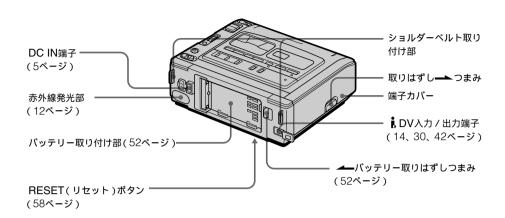
♥LANCマークについて

むは、LANC端子のマークで す。LANC端子とは、ビデオ機 器と周辺機器を接続し、テープ 走行などをコントロールできる ようにした端子です。

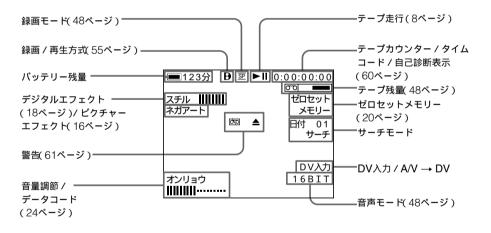
パソコンの接続

- パソコンで加工したり編集し た画像をi.LINKケーブルを 使って本機で録画するときは 新しいHi8Hii B/Digital8日 テープをお使いください。
- Hi8スタンダード8ミリ(アナ ログ)方式で記録した画像を パソコンに取り込むときは、 ー度Digital8∰方式または DV方式のビデオヘダビング し、その画像をパソコンに取 り込んでください(42ペー ジ)。

各部のなまえ(つづき) 使いかたの説明は、()内のページにあります。



画面表示



タイムコードについて タイムコードは、テープの位置 の指定を容易にするために、 テープ上に記録される位置情報 信号です。本機では、録画時に タイムコードが自動的に記録されます。タイムコードを確認す るには、画面表示ボタンを押す と、モニター画面やテレビ画表 に、時:分:秒:フレームでよ 示されます。タイムコードは、 テープの先頭を0:00:00:00として、順に記録されます。ただし、テープの途中で空き(無記録部分)を作ると、その直後から0:00:00:00として記録されます。このタイムコードは後から書き直すことはできません。また、本機のタイムコードはドロップフレーム方式です。誤差修正のために数フレームとばして表示することがあります。

端子カバーの取りはずしかた 別売りの専用アクセサリーを本 機に取り付けるときは、取りは ずしーへつまみを上にずらしな がら、端子カバーをはずしま す。使い終わったら、端子カ バーを取り付けてください。

索引

ア行
インサート編集 43
" インフォリチウム "
バッテリー52
おしらせブザー 49
お知らせメッセージ61
お手入れ64
音声多重テープ 55
音声ミックス47
音声モード 48
カ行
カセットの入れかた6
画面表示70
カラーテレビ方式63
逆方向再生8
警告表示61
結露 64
÷+
高速アクセス8
サ行
サ行
サ行 再生7
サ行 再生
サ行 再生
サ行 再生
サ行 再生 7 再生ズーム 15 サブ(音声) 55 自己診断表示 60 時差補正 63 実用充電 54 充電 53
サ行 再生 7 再生ズーム 15 サブ(音声) 55 自己診断表示 60 時差補正 63 実用充電 54 充電 53 充電式ボタン電池 65
サ行 再生 7 再生ズーム 15 サブ(音声) 55 自己診断表示 60 時差補正 63 実用充電 54 充電 53 充電式ボタン電池 65 主音声 55
サ行 再生 7 再生ズーム 15 サブ(音声) 55 自己診断表示 60 時差補正 63 実用充電 54 充電 53 充電式ボタン電池 65
サ行 再生
サ行 再生
サ行 再生
サ行 再生 7 再生ズーム 15 サブ(音声) 55 自己診断表示 60 時差補正 63 実用充電 54 充電 53 充電式ボタン電池 65 主音声 55 ステレオ放送テープ 9、55 静止画 8 赤外線送信 12 接続(テレビで見るとき) 4 (編集のとき) 13
サ行 再生

タ行	
タイトル 25、	27
ダビング編集	
データコード	24
テープ残量表示	
テープの終わり表示	
デジタルエフェクト	
デジタルプログラム	
エディット	31
デモンストレーション	49
電源 (家庭用コンセント)	5
(自動車の電源)	5
(バッテリー)	52
ナ行	
二重音声記録放送	
テープ9、	55
八行	
倍速再生	8
バッテリー	52
バッテリー残量表示	52
ピクチャーエフェクト	
ピクチャーサーチ	
日付サーチ	
日付・時刻合わせ	50
フォトサーチ	22
フォトスキャン	23
副音声	55
ヘッド	64
ヘッドホン端子	8
ヘッド汚れ表示	64
編集	29
マ行	
満充電	53
メイン(音声)	55

ブ行	
Jセットボタン	58
Jモコン	10
禄画モード	48
ワ行	
フイドTV	11
アルファベット順	
ACパワーアダプター	5
AFM Hi-Fiステレオ方式	55
À∀接続ケーブル	4
4∨変換ケーブル	42
OC IN端子	
Digital8 (デジタルエイト ∦	
方式	
D-1方式	
D-2方式	
.LINK	
_ANC端子	
NTSC方式	63
SUPER LASER	4.0
AVLINK	12

お問い合わせ窓口 のご案内

電話のおかけ間違いに ご注意ください。

テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、 および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合 は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。 修理に関するご案内をさせていただきます。

土、日曜日、祝日 午前9時~午後5時 お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますと より迅速な対応が可能になります。

本機の型名(GV-D200)および製造番号(保証書などに記載されています)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

